

2022年8月24日

関係者各位

京都市聴覚言語障害センター
所長 岩城 宏允

新型コロナウイルス感染にかかる報告及び 部屋利用の自粛等についてお願い

当センターの入所施設の新型コロナウイルス感染のクラスター発生におきまして、大変ご心配、ご不便をおかけしております。

7月に生じたクラスターは終息し、8月22日より入館制限の解除及び部屋の利用を再開いたしました。しかし、8月24日現在、入所施設において新たな感染が5人判明しました。再び、入所施設は人の往来を中止し、感染者の療養及び全員の健康観察を継続しております。

入所施設とのゾーニング対策を講じていることから、来館及び部屋の利用におきましては再開のまま継続いたします。ただし、同施設内で感染者が複数人いることから、来館と部屋の利用はできるだけ自粛をご考慮いただけますよう、お願い申し上げます。

(利用中止の場合は、ご一報いただければ幸いです)

また、会議等で部屋のご利用の際には、入所施設において再び感染が発生している旨、出席者にご承知いただいた上で来館いただきますよう、お願い申し上げます。

関係者の皆様には、度重なる大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 感染状況にあわせ、随時、京都市聴覚言語障害センターのホームページにてお知らせします(個別でのお知らせはいたしませんので、随時ご確認いただければ幸いです)